

政策 10 「豊かな自然環境の保全・創造」

政策 10「豊かな自然環境の保全・創造」は、多くの生物が生息している森林、河川、湖沼など多様で豊かな自然環境を保全し、かけがえのない財産として次代に継承するとともに、人と自然との豊かなふれあいの場を創出していくことを目指す様々な施策で構成されている。

1. 政策 10 の認知度

1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 41.2%、低認知度群は 58.8%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、

性別では、男性（45.1%）が女性（37.5%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（52.7%）が 65 歳未満（37.2%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、大崎圏域（47.8%）が 6.6 ポイント、栗原圏域（46.3%）が 5.1 ポイント高い。

回答者全体と比較して、石巻圏域（34.2%）が 7.0 ポイント、仙南圏域（35.6%）が 5.6 ポイント低い。

（%）

政策 10 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	3.4	37.8	41.2	49.6	9.2	58.8	100.0

性別	男性	3.9	41.2	45.1	46.5	8.3	54.8	100.0
	女性	3.0	34.5	37.5	52.6	9.9	62.5	100.0
年齢別	65 歳未満	2.7	34.5	37.2	53.0	9.9	62.9	100.0
	65 歳以上	5.6	47.1	52.7	40.2	7.1	47.3	100.0

圏域別	仙台	3.3	36.7	40.0	47.9	12.1	60.0	100.0
	仙南	1.7	33.9	35.6	57.1	7.3	64.4	100.0
	大崎	3.5	44.3	47.8	43.4	8.8	52.2	100.0
	栗原	4.3	42.0	46.3	43.2	10.5	53.7	100.0
	登米	5.0	40.3	45.3	47.1	7.7	54.8	100.0
	石巻	4.3	29.9	34.2	57.6	8.2	65.8	100.0
	気山沼・本吉	2.1	38.3	40.4	50.6	9.1	59.7	100.0

有効回答者数 1,626 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 52.9%、低認知度群は 47.1%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、気仙沼・本吉圏域（72.2%）が 19.3 ポイント、栗原圏域（71.4%）が 18.5 ポイント、登米圏域（58.3%）が 5.4 ポイント高い。

仙南圏域（46.3%）が、回答者全体と比較して 6.6 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 69.3%、低認知度群は 30.8%である。

(%)

政策 10 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	5.2	47.7	52.9	42.8	4.3	47.1	100.0	
圏 域 別	仙台	1.8	46.4	48.2	44.6	7.1	51.7	100.0
	仙南	3.7	42.6	46.3	51.9	1.9	53.8	100.0
	大崎	7.8	45.5	53.3	42.9	3.9	46.8	100.0
	栗原	14.3	57.1	71.4	28.6	0.0	28.6	100.0
	登米	8.3	50.0	58.3	41.7	0.0	41.7	100.0
	石巻	9.1	45.5	54.6	36.4	9.1	45.5	100.0
	気仙沼・本吉	8.3	63.9	72.2	27.8	0.0	27.8	100.0

有効回答者数 325 名

学識者等全体	18.5	50.8	69.3	27.7	3.1	30.8	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 65 名

2. 政策 10 の関心度

1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 83.4%、低関心度群は 16.6%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性（84.5%）が女性（82.3%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（87.6%）が 65 歳未満（81.8%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、高関心度群の割合に 5 ポイント以上差がある圏域はない。

(%)

政策 10 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	30.2	53.2	83.4	14.3	2.3	16.6	100.0

性別	男性	32.0	52.5	84.5	13.5	2.0	15.5	100.0
	女性	28.4	53.9	82.3	15.2	2.5	17.7	100.0
年齢別	65 歳未満	26.0	55.8	81.8	16.0	2.1	18.1	100.0
	65 歳以上	41.7	45.9	87.6	9.7	2.8	12.5	100.0

圏域別	仙台	31.8	53.0	84.8	13.4	1.8	15.2	100.0
	仙南	25.2	57.4	82.6	15.7	1.7	17.4	100.0
	大崎	33.8	51.9	85.7	11.8	2.5	14.3	100.0
	栗原	35.3	46.1	81.4	15.6	3.0	18.6	100.0
	登米	29.5	55.4	84.9	11.6	3.6	15.2	100.0
	石巻	22.5	58.8	81.3	17.6	1.1	18.7	100.0
	気山沼・本吉	30.6	51.2	81.8	15.7	2.4	18.1	100.0

有効回答者数 1,671 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 85.9%、低関心度群は 14.1%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域（100.0%）、石巻圏域（100.0%）では共に 14.1 ポイント高い。

仙台圏域（80.9%）では、回答者全体と比較して 5.0 ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は 93.9%、低関心度群は 6.1%である。

（%）

政策 10 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心 がなかった			
市町村職員全体	27.6	58.3	85.9	12.9	1.2	14.1	100.0	
圏 域 別	仙台	20.9	60.0	80.9	17.4	1.7	19.1	100.0
	仙南	41.1	46.4	87.5	12.5	0.0	12.5	100.0
	大崎	32.1	55.1	87.2	11.5	1.3	12.8	100.0
	栗原	14.3	85.7	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	登米	33.3	66.7	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	石巻	21.7	65.2	86.9	8.7	4.3	13.0	100.0
	気山沼・本吉	27.0	62.2	89.2	10.8	0.0	10.8	100.0

有効回答者数 333 名

学識者等全体	43.9	50.0	93.9	6.1	0.0	6.1	100.0
--------	------	------	------	-----	-----	-----	-------

有効回答者数 66 名

3. 政策 10 の重視度・満足度

3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 80.0 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 55.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 25.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 42.1%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 80.0 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 35.4%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 80.0 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 34.9%と推定できる。

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	55.0	25.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	45.0	25.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	65.0	25.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	11.4	(88.6)
満足度 60点未満の割合		53.5
要検討領域にある回答者全体の割合		42.1

有効回答者数；重視度 1,645人、満足度 1,628人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策10重視度	政策10満足度
度数	有効	1645	1628
	欠損値	76	93
平均値		75.66	53.59
平均値の標準誤差		.409	.422
中央値		80.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.572	17.023
分散		274.622	289.784
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	70.00	45.00
	40	70.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	65.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	50.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	65.0	25.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	9.3	(90.7)
満足度 60点未満の割合		44.7
要検討領域にある回答者全体の割合		35.4

有効回答者数；重視度 334人、満足度 333人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策10重視度	政策10満足度
度数	有効	334	333
	欠損値	4	5
平均値		75.90	55.51
平均値の標準誤差		.824	.838
中央値		80.00	60.00
最頻値		70	60
標準偏差		15.060	15.285
分散		226.818	233.624
範囲		90	95
最小値		10	5
最大値		100	100
パーセントイル	25	70.00	50.00
	40	70.00	55.00
	50	80.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	65.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	50.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	66.3	23.8

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

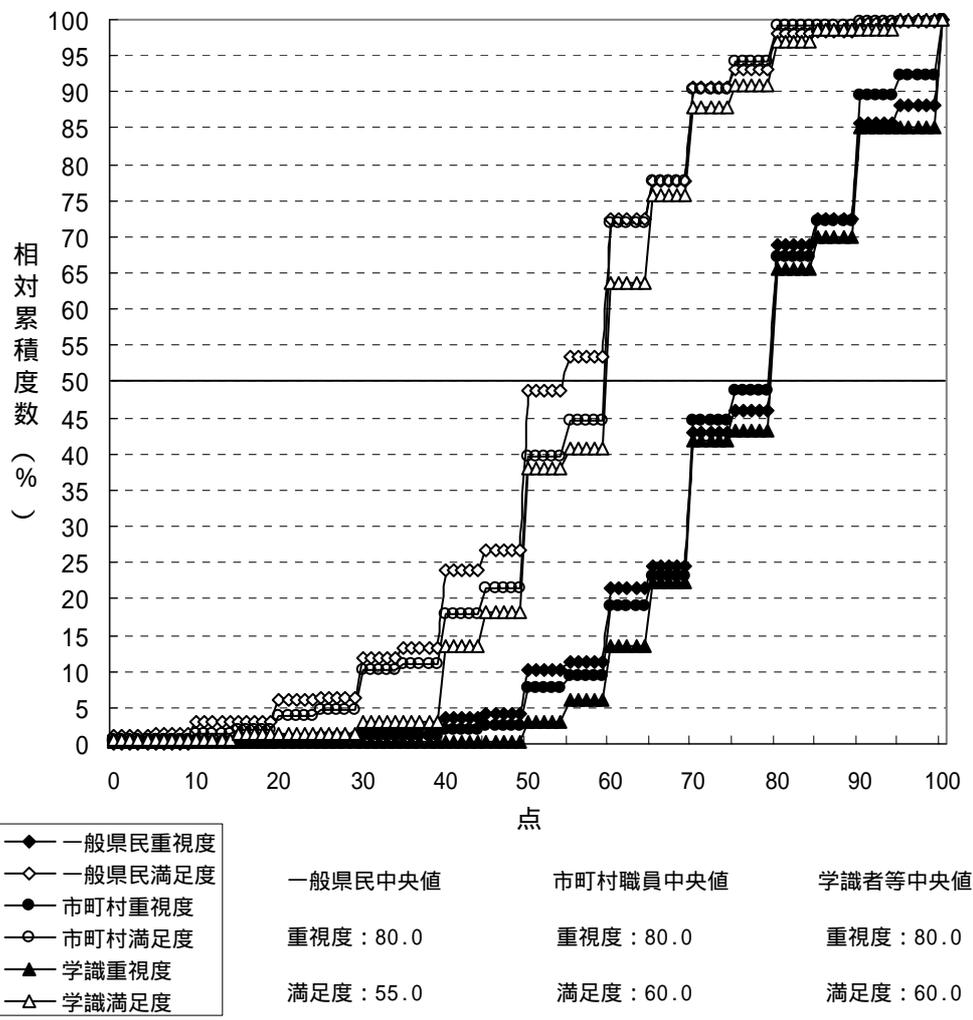
	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	6.0	(94.)
満足度 60点未満の割合		40.9
要検討領域にある回答者全体の割合		34.9

有効回答者数；重視度 67人、満足度 66人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策10重視度	政策10満足度
度数	有効	67	66
	欠損値	2	3
平均値		78.21	58.33
平均値の標準誤差		1.687	1.705
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	60
標準偏差		13.809	13.849
分散		190.683	191.795
範囲		50	80
最小値		50	15
最大値		100	95
パーセントイル	25	70.00	50.00
	40	70.00	55.00
	50	80.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	66.25

「政策10 豊かな自然環境の保全・創造」



3 2 性別・年齢区分別（一般県民）

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに 80.0 点で同じである。

満足度の中央値は、女性（60.0 点）が男性（50.0 点）よりも高い。

重視度と満足度の中央値の差は、男性（30.0 点）が女性（20.0 点）よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、男性（12.5 点）が女性（10.0 点）よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、男性女性共に 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性 45.7%、女性 38.9%と推定できる。

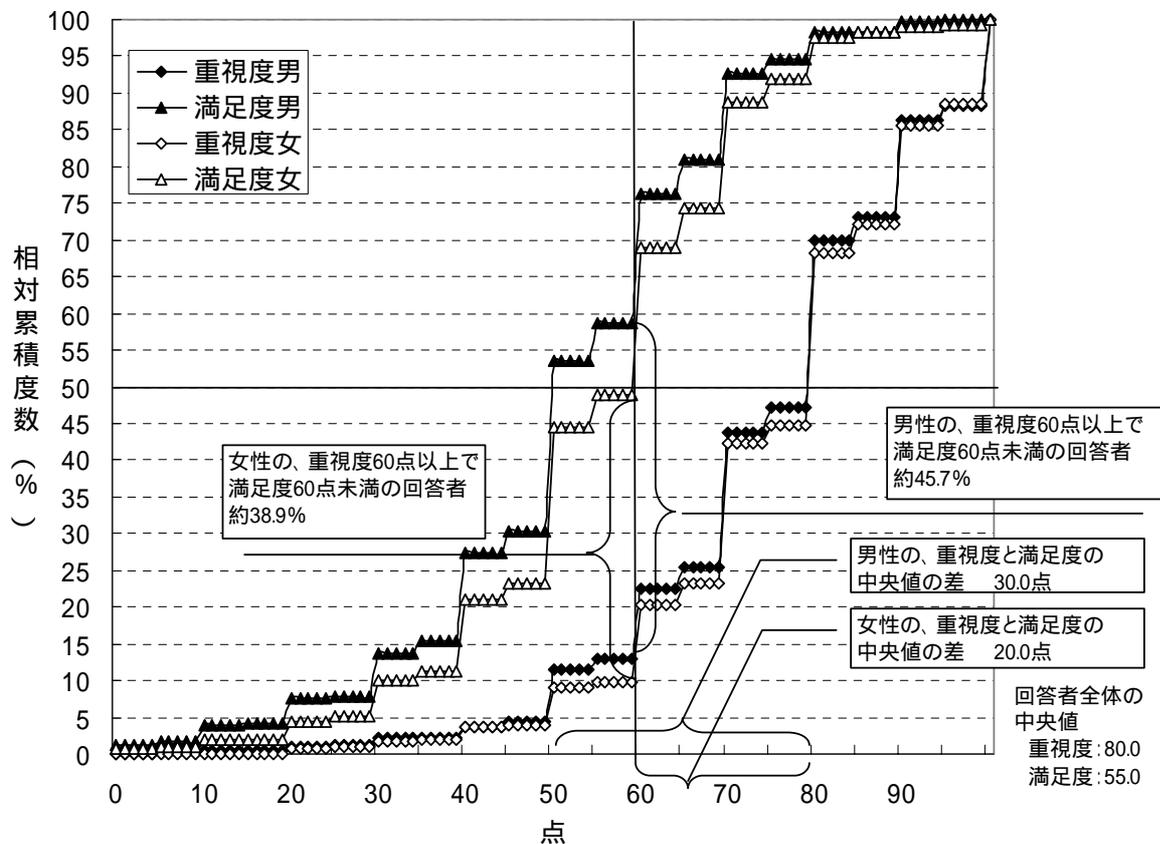
中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	55.0	50.0	60.0
	かい離	25.0	30.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	70.0	65.0	70.0
	満足度	45.0	40.0	50.0
	かい離	25.0	25.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	90.0	90.0	90.0
	満足度	65.0	60.0	70.0
	かい離	25.0	30.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	12.5	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	男性	女性
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	12.9 (87.1)	9.9 (90.1)
満足度 60 点未満の割合	58.6	48.8
要検討領域にある回答者全体の割合	45.7	38.9

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策10重視度	政策10満足度
度数	有効	778	769
	欠損値	25	34
平均値		75.14	51.69
平均値の標準誤差		.609	.623
中央値		80.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.982	17.270
分散		288.397	298.245
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	65.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	80.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策10重視度	政策10満足度
度数	有効	848	840
	欠損値	48	56
平均値		76.15	55.38
平均値の標準誤差		.555	.572
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.153	16.592
分散		260.926	275.302
範囲		90	100
最小値		10	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	50.00
	40	70.00	50.00
	50	80.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	70.00

3 2 - 2 65 歳年齢区分別

重視度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 80.0 点で同じである。

満足度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 55.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 25.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満（12.5 点）が 65 歳以上（10.0 点）よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満（10.0 点）が 65 歳以上（12.5 点）よりも小さい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 43.3%、65 歳以上 38.8%と推定できる。

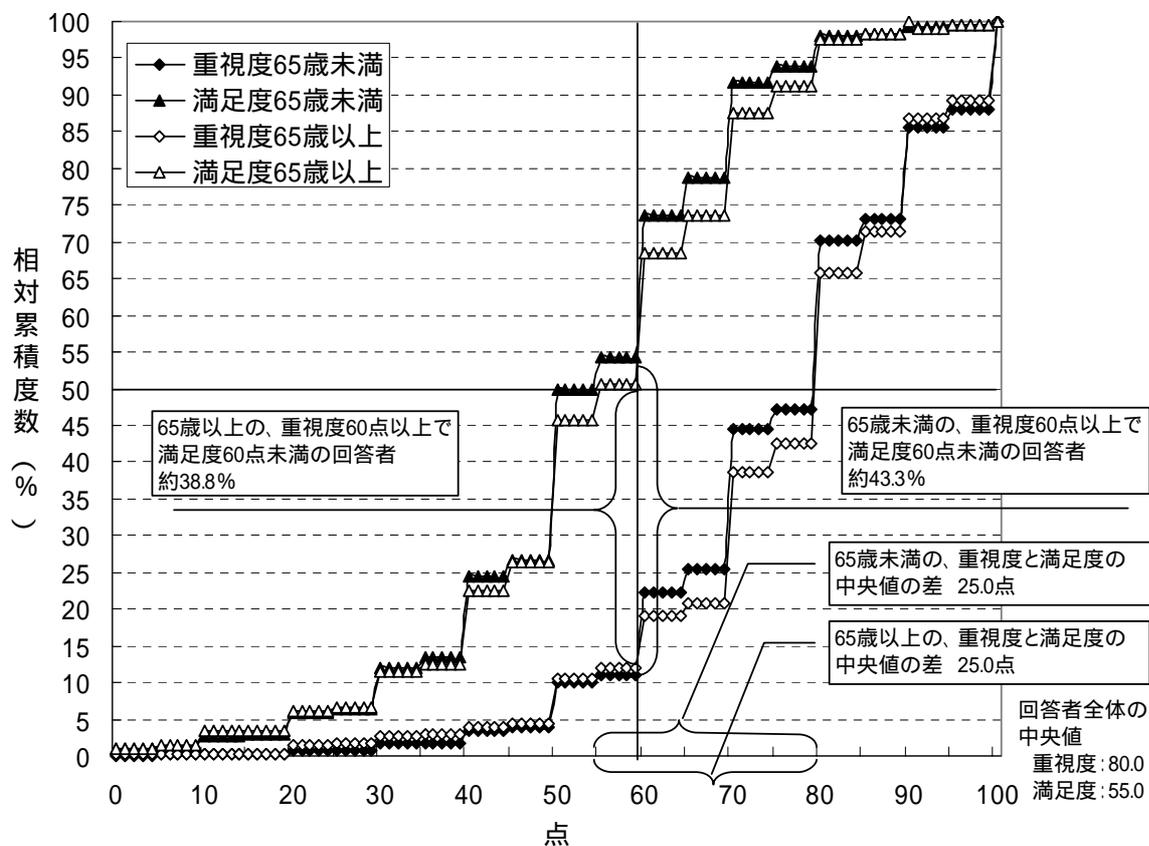
中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	55.0	55.0	55.0
	かい離	25.0	25.0	25.0
第 1 四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	70.0	65.0	70.0
	満足度	45.0	45.0	45.0
	かい離	25.0	20.0	25.0
第 3 四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	90.0	90.0	90.0
	満足度	65.0	65.0	70.0
	かい離	25.0	25.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	12.5	10.0
	満足度	10.0	10.0	12.5

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	11.1 (88.9)	11.9 (88.1)
満足度 60 点未満の割合	54.4	50.7
要検討領域にある回答者全体の割合	43.3	38.8

(一般県民)65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民)65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策10重視度	政策10満足度
度数	有効	1203	1195
	欠損値	37	45
平均値		75.48	53.31
平均値の標準誤差		.475	.487
中央値		80.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.470	16.818
分散		271.256	282.854
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	65.00	45.00
	40	70.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	65.00

(一般県民)65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策10重視度	政策10満足度
度数	有効	421	412
	欠損値	36	45
平均値		76.31	54.61
平均値の標準誤差		.814	.863
中央値		80.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.700	17.519
分散		278.884	306.905
範囲		90	90
最小値		10	0
最大値		100	90
パーセンタイル	25	70.00	45.00
	40	75.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	70.00

3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、仙南圏域(75.0点)が回答者全体(80.0点)よりも5ポイント低い。

満足度の中央値は、大崎圏域(60.0点)が回答者全体(55.0点)よりも5ポイント高く、
仙台圏域(50.0点)、仙南圏域(50.0点)の2圏域が5ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、気仙沼・本吉圏域(14.4点)、石巻圏域(12.5点)が回答者全体(10.0点)よりも大きく、仙南圏域(5.0点)が小さい。

満足度の四分位偏差は、栗原圏域(14.4点)、気仙沼・本吉圏域(12.5点)の2圏域が回答者全体(10.0点)よりも大きく、大崎圏域(8.8点)、石巻圏域(7.5点)の2圏域が小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、栗原圏域(70.0点)、石巻圏域(70.0点)の2圏域が回答者全体(80.0点)よりも10ポイント、登米圏域(72.5点)が7.5ポイント、仙台圏域(75.0点)、気仙沼・本吉圏域(75.0点)の2圏域が5ポイント低い。

満足度の中央値は、石巻圏域(55.0点)が回答者全体(60.0点)よりも5ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、仙台圏域(12.5点)、登米圏域(11.3点)の2圏域が回答者全体(10.0点)よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、仙台圏域(10.0点)、大崎圏域(10.0点)、石巻圏域(10.0点)、気仙沼・本吉圏域(8.8点)の4圏域が回答者全体(7.5点)よりも大きく、栗原圏域(0.0点)、登米圏域(6.9点)の2圏域が小さい。

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値

(点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	80.0	80.0	75.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	55.0	50.0	50.0	60.0	55.0	55.0	55.0	55.0
	かい離	25.0	30.0	25.0	20.0	25.0	25.0	25.0	25.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	65.0	61.3
	満足度	45.0	40.0	40.0	50.0	41.3	50.0	50.0	40.0
	かい離	25.0	30.0	30.0	20.0	28.8	20.0	15.0	21.3
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	90.0	90.0	80.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
	満足度	65.0	60.0	60.0	67.5	70.0	70.0	65.0	65.0
	かい離	25.0	30.0	20.0	22.5	20.0	20.0	25.0	25.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	5.0	10.0	10.0	10.0	12.5	14.4
	満足度	10.0	10.0	10.0	8.8	14.4	10.0	7.5	12.5

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値

(点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	80.0	75.0	80.0	80.0	70.0	72.5	70.0	75.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	57.5	55.0	60.0
	かい離	20.0	15.0	20.0	20.0	10.0	15.0	15.0	15.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	70.0	65.0	70.0	70.0	70.0	62.5	60.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	45.0	50.0	60.0	50.0	40.0	48.8
	かい離	20.0	15.0	25.0	20.0	10.0	12.5	20.0	21.3
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	85.0	80.0	90.0
	満足度	65.0	70.0	60.0	70.0	60.0	63.8	60.0	66.3
	かい離	25.0	20.0	30.0	20.0	30.0	21.3	20.0	23.8
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	12.5	10.0	10.0	10.0	11.3	10.0	10.0
	満足度	7.5	10.0	7.5	10.0	0.0	6.9	10.0	8.8

4. 政策 10 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 2「身近な緑の保全・再生・創造」(34.5%)である。

第 2 位は施策 5「森林の適正な管理」(19.3%)である。

第 3 位は施策 1「自然公園等の優れた自然環境の保全」(18.4%)である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 2「身近な緑の保全・再生・創造」(43.5%)である。

第 2 位は施策 1「自然公園等の優れた自然環境の保全」(17.3%)である。

第 3 位は施策 5「森林の適正な管理」(15.2%)である。

学識者では、

第 1 位は施策 2「身近な緑の保全・再生・創造」(39.7%)である。

第 2 位は施策 5「森林の適正な管理」(22.1%)である。

第 3 位は施策 3「景観・歴史的環境の保全」(13.2%)である。

性別

一般県民では、

第 1 位は、男性女性とも、施策 2「身近な緑の保全・再生・創造」である。

第 2 位は、男性では施策 5「森林の適正な管理」、女性では施策 1「自然公園等の優れた自然環境の保全」である。

第 3 位は、男性では施策 1「自然公園等の優れた自然環境の保全」、女性では施策 5「森林の適正な管理」である。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

第 1 位は、65 歳未満 65 歳以上とも施策 2「身近な緑の保全・再生・創造」である。

第 2 位は、65 歳未満では施策 5「森林の適正な管理」、65 歳以上では施策 1「自然公園等の優れた自然環境の保全」である。

第 3 位は、65 歳未満では施策 1「自然公園等の優れた自然環境の保全」、65 歳以上では施策 5「森林の適正な管理」である。

圏域別

一般県民では、

第 1 位は、全圏域とも施策 2 「身近な緑の保全・再生・創造」である。

第 2 位は、仙南、大崎、石巻、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 5 「森林の適正な管理」、
仙台、栗原、登米の 3 圏域では施策 1 「自然公園等の優れた自然環境の保全」である。

第 3 位は、仙台、栗原、登米の 3 圏域では施策 5 「森林の適正な管理」、仙南、石巻、気
仙沼・本吉の 3 圏域では施策 1 「自然公園等の優れた自然環境の保全」、大崎圏域では施
策 6 「自然とふれあう場や機会の提供」である。

市町村職員では、

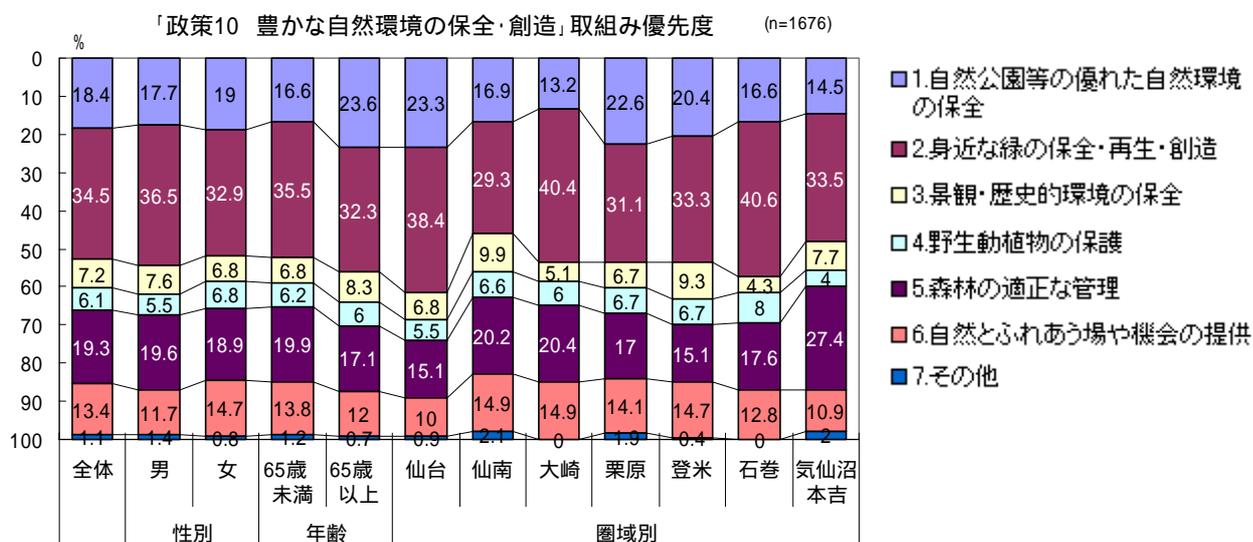
第 1 位は、仙台、仙南、大崎、登米、石巻、気仙沼・本吉の 6 圏域では施策 2 「身近な緑
の保全・再生・創造」、栗原圏域では施策 1 「自然公園等の優れた自然環境の保全」であ
る。

第 2 位は、大崎、栗原、登米、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 5 「森林の適正な管理」、
仙台、仙南、登米の 3 圏域では施策 1 「自然公園等の優れた自然環境の保全」、栗原圏域
では施策 2 「身近な緑の保全・再生・創造」、登米圏域では施策 6 「自然とふれあう場や
機会の提供」である（登米圏域では施策 1 と施策 5 と施策 6 が共に第 2 位になっている）

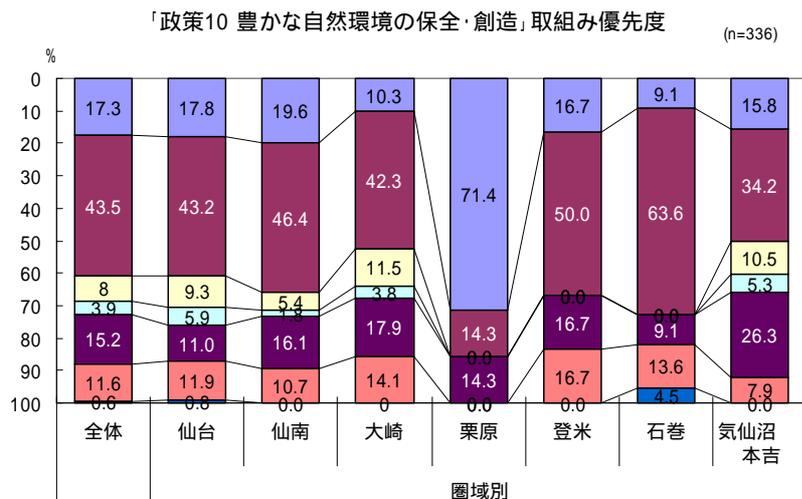
第 3 位は、仙台、大崎の 2 圏域では施策 6 「自然とふれあう場や機会の提供」、仙南、栗
原の 2 圏域では施策 5 「森林の適正な管理」、石巻、気仙沼・本吉の 2 圏域では施策 1 「自
然公園等の優れた自然環境の保全」である。

政策10「豊かな自然環境の保全・創造」

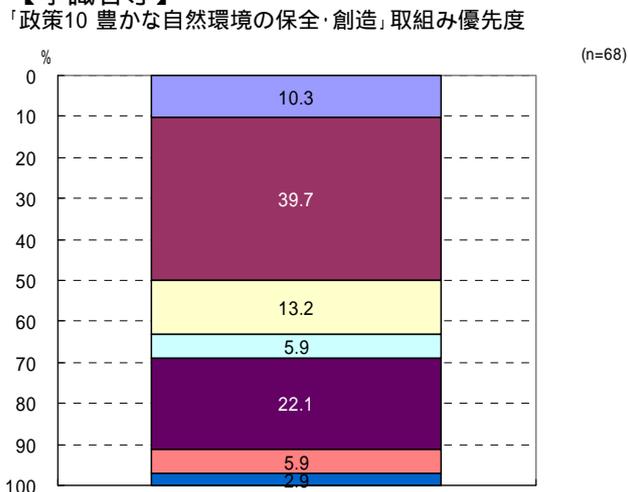
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策 10 「豊かな自然環境の保全・創造」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.自然公園等の優れた自然環境の保全	18.4	17.7	19.0	16.6	23.6	23.3	16.9	13.2	22.6	20.4	16.6	14.5
2	2.身近な緑の保全・再生・創造	34.5	36.5	32.9	35.5	32.3	38.4	29.3	40.4	31.1	33.3	40.6	33.5
3	3.景観・歴史的環境の保全	7.2	7.6	6.8	6.8	8.3	6.8	9.9	5.1	6.7	9.3	4.3	7.7
4	4.野生動植物の保護	6.1	5.5	6.8	6.2	6.0	5.5	6.6	6.0	6.7	6.7	8.0	4.0
5	5.森林の適正な管理	19.3	19.6	18.9	19.9	17.1	15.1	20.2	20.4	17.0	15.1	17.6	27.4
6	6.自然とふれあう場や機会の提供	13.4	11.7	14.7	13.8	12.0	10.0	14.9	14.9	14.1	14.7	12.8	10.9
7	7.その他	1.1	1.4	0.8	1.2	0.7	0.9	2.1	0.0	1.9	0.4	0.0	2.0

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.自然公園等の優れた自然環境の保全	17.3	17.8	19.6	10.3	71.4	16.7	9.1	15.8
2	2.身近な緑の保全・再生・創造	43.5	43.2	46.4	42.3	14.3	50.0	63.6	34.2
3	3.景観・歴史的環境の保全	8.0	9.3	5.4	11.5	0.0	0.0	0.0	10.5
4	4.野生動植物の保護	3.9	5.9	1.8	3.8	0.0	0.0	0.0	5.3
5	5.森林の適正な管理	15.2	11.0	16.1	17.9	14.3	16.7	9.1	26.3
6	6.自然とふれあう場や機会の提供	11.6	11.9	10.7	14.1	0.0	16.7	13.6	7.9
7	7.その他	0.6	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.自然公園等の優れた自然環境の保全	10.3
2	2.身近な緑の保全・再生・創造	39.7
3	3.景観・歴史的環境の保全	13.2
4	4.野生動植物の保護	5.9
5	5.森林の適正な管理	22.1
6	6.自然とふれあう場や機会の提供	5.9
7	7.その他	2.9

